

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 4月 7日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスさくらんぼ八戸

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6	0	0	仕切り等のスペース確保を行っている。利用者が多い時は屋外での活動も取り入れている。	利用人数に応じて明確な仕切り等を使用し個人の活動スペースの確保に努める。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2	1	児童発達支援管理責任者、児童指導員、保育士など職員を配置している。	開所時に比較し、児童数も増えてきたため、多様に対応できるように職員数を増やしていければなおよい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	1	0	玄関口に段差はあるが、そのほかの段差はない。壁も上部を開けることにより、声が入りやすい設計となっている。	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	0	0	問題点などは職員間で共有し、議論している。ミーティングなどができない場合でもSNSを活用するなどの工夫をしている。	今後も継続していく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	1	0	保護者の意向等は送迎時や施設長直通の電話及びLINE、支援会議、相談支援専門員を通じて把握している。またLINEを使用した相談窓口を設置し、いつでも保護者の相談ができる体制を整備している。	今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	自己評価結果をホームページ上に公表する。	令和5年4月中にホームページに公表予定
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2	0	外部講師による指導・業務アドバイスを受けている。また佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会に参加、情報の交換、研修、運営等の助言など業務改善につなげている。	今後も継続していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	内部では、同一法人内事業所での研修を行い、資質の向上を図っている。外部では、佐賀県療育支援センターでの研修をはじめ、その他ZOOMなどの各種研修にも参加している。佐賀中部地区放課後等デイサービス研修参加と他事業所との連携を行っている。	佐賀中部地区放課後等デイサービス連絡会主催研修に管理者が代表して参加しているが、今後は他職員も参加を促す。
適切 な 支 援 の	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	契約時等、初回利用時に聞き取りを行い、フェイス・アセスメントシートを記入していただき、必要時には施設長と情報を交換し利用児童の分析に努めている。また、相談支援専門員とも連携を図っている。	契約時に聞き取りが不十分な家庭がある。見学時から質問しておく項目を増やす。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	0	標準化されたアセスメントツールを使用している。	今後も継続していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	0	0	全職員で話し合い、活動計画を作成している。時には利用児童とも面談を行い、希望を取り入れるなどの工夫もしている。	今後も継続していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	0	0	季節感にあった活動を計画し、次に活かせる反省を取り入れ、より良い活動ができる工夫を行っている。	今後も継続していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	1	0	平日は学校後の決まり事から、個別活動や小グループでの活動が中心となっている。休日や長期休暇時は、時間配分なども考えられるように設定し、主に集団で活動できるようにイベント計画を作成している。	今後も継続していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	児童の成長も加味してモニタリングを行っている。得意、不得意も考慮し計画の作成を行っている。	平日は下校時間にばらつきが多く、個別活動になりやすい。小集団のできる活動などもひろく取り入れていく。

提供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	3	0	打ち合わせが必ず行えているわけではないが、その日の支援内容、担当する役割分担、注意事項をLINE等を活用し全職員で共有し、確認している。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	0	当日の反省点や疑問等、LINEにて報告や問題提起、会議を行うことで、全職員共有できるようにし、必要時は会議を開催するなどしている。	今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	利用時における記録や実績は、必ず当日に保護者へお話をし、同意のサインを頂いている。また送迎時に具体的な今日の児童の様子を保護者に説明している。	今後も継続していく。
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	0	数か月ごとにモニタリングを実施し、計画の変更が必要時には変更を行っている。	今後も継続していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	3	0	ガイドラインを熟知しやすいように閲覧用ファイルを準備している。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	基本的には児童発達支援管理責任者が会議に参加している。	今後も継続していく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	0	送迎時に担任の先生引き渡しのもと、当日の様子を伺う。また、年間計画などを確認し、必要があれば都度先生へ直接訪ねるなどしている。	今後も継続していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	6	0	指定として、重症児の受け入れはしていないが、それに準ずる児童を受け入れる必要がある場合、主治医や協力医療機関と連携をとれるようにし、家族とも連絡が取れるように体制づくりを行っている。	ケアが必要とされる児童を受け入れる場合に備え、知識と態勢づくりに努める。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1	0	相談員を通じて支援会議を開くなどの場にて、共有を行っている。また、園お迎え時に様子などを聞き取りを行っている。	より密に、連絡調整ができる体制づくりに努める。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	0	当事業所からの実績はないが、情報共有のための準備はできている。	本人との今後の連携も含めて、情報共有をしていく体制づくりに努める。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	専門機関をはじめ、各種研修に参加しており、また研修後の伝達講習もしている。	もっと多くの研修に参加できるように、時間の確保を行っていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	0	児童館との交流はコロナ禍であったため控えていたが、公園等で障害のない子らとの交流はある。今後規制の緩和に伴い、交流できるように工夫していく。	今後も継続していく。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	0	6	0	協議会への参加はないが、連絡会内に参加されることがあり、今後は参加の機会があれば参加をしていきたい。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	0	個別の連絡先や送迎時に日頃の様子等を聞き、フィードバックを行っている。また計画書の見直し時は利用者、保護者への説明、同意を頂いている。	今後も継続していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4	0	ペアレント・トレーニングとしては行っていないが、相談などがあれば都度アドバイスを行っている。	今後、ペアレント・トレーニングについては検討したい。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	0	ご見学時に一度説明し、契約時に再度説明を行っている。不明時は、都度質問も受け付けており、質問しやすい関係性の維持に努めている。	今後も継続していく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	0	LINEを利用し、24時間相談窓口を開設している。必要に応じ、管理者が面談を行っている。	今後も継続していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	4	支援をしたり主催して行ってはいないが、今後機会を作りたいと考えている。	今後、検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	相談、苦情の窓口を設置し、契約時に保護者への窓口の説明を行っている。保護者に対し、ひろく窓口を開けていることを伝えている。	今後も継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	0	毎月イベントカレンダーを発行している。また、会報に代わるものとしてInstagramやホームページなどで情報の発信を行っている。	今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	職員は雇用契約書に個人情報保護に係る内容を記載している。また個人情報に関わる書類全てにおいて、鍵付き書庫に保管し、処分時は細断処分を徹底している。	今後も継続していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	0	説明時に文字を大きくしたり、ひらがなや絵カードを使用したり配慮している。また道具の置き場には写真で分かるよう工夫している。	今後も継続していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	4	0	現在までに、集客するタイプの行事は行っていないが、果物狩りなどに行った時には周辺の住民へおすそ分けをするなどの配慮には努めている。	今後は広く集客できるようなイベントも検討していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	各種マニュアルを整備し、都度改訂も行っている。また、いつでも閲覧できるように見やすい場所に配置している。	今後も継続していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	防災計画をはじめ、避難確保計画に基づいて各種訓練を行っている。また、状況判断がしやすいように普段から避難場所に行くなどの活動を行っている。	継続して、年2回以上の避難訓練を児童と行いたい
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1	0	虐待防止委員会を設置し、委員会主導のもと研修も行っている。また、連絡会などの場でも出張研修などの機会を設け参加している。	今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	現在、拘束をする必要の児童はいないが、上記虐待防止委員会と一体として身体拘束廃止委員会を立ち上げており、もしも場合などの決定を行っている。今後、必要となったときはその決定に則って保護者等に説明を行っていく。	今後も継続していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	0	0	利用前の聞き取り面談、アセスメント時に確認している。	今後も継続していく。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	発生時は報告書を作成。全職員に内容を共有し改善・解決に努めている。	今後も継続していく。	